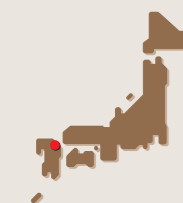


— 未来を想い、今を創造する。 —

株式会社 建設コンサルタントサニー

本社：〒870-0952 大分市下郡北3丁目18番43号
 営業所：杵築市山香町倉成745
 TEL : 097-567-8600
 FAX : 097-567-8611
 設立年：1972(昭和47)年10月2日
 代表者：代表取締役社長 恒松 泉



毎朝行う朝礼の様子



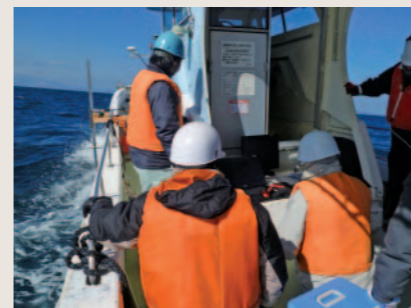
有志による四国旅行



ボーリング大会で和む社員



清掃活動の様子



ナローマルチビームによる測深状況



橋梁点検車に乗り込み作業する技術社員



GPSを用いた観測の様子



災害時の避難広場を備えた公園の計画・設計(佐伯市鶴望公園)
 災害時トイレ10基、太陽光発電照明灯4基を設置



県道玖珠山国線の道路実施設計が終了し、急ピッチで工事が進む様子

会社の歩み

我社は昭和47年10月、大分市に測量会社として立ち上げ、今年で満40歳を迎えました。

平成9年に「サニー測量設計株式会社」から現在の「株式会社建設コンサルタントサニー」に社名を改め、現在に至っております。

測量主体であった業務内容をコンサルタント業務を実施すべく技術者の確保、技術の研鑽、資格への挑戦などを行い、同年9月には「建設コンサルタント」の登録をすることができました。

更には、平成14年に一般社団法人建設コンサルタント協会の会員となり、土木コンサルタント業務に取り組んでおります。

今も続く我々業界への逆風の中、社員一丸となって確かな成果品の作成に取り組んでいます。

平成24年7月九州北部豪雨

7月11～14日にかけての雨は、これまでに経験

したことの無い豪雨となり、多くの死者や行方不明者を出す結果となりました。大分県日田市大河内では、最大1時間雨量88mm、24時間雨量459mmを記録しました。我社においても大分県日田土木事務所の要請を受け、7月16日から災害現場へ向かうこととなりました。事務所の指示により各コンサルタント別に災害現場が振り分けられ、我社は、高瀬川12kmを任されることになりました。現場は想像以上に悲惨な状況であったため12人体制でのぞみ、昼間は災害現場、夜は遅くまで或いは明け方まで通常業務の対応に追われました。

11月の第9次査定が終わるまでは、県土木職員もコンサルタント技術者もゆっくりした休みは取れず、毎日睡眠不足の状態が続きました。しかし、これにより更に仕事への情熱とチームワークが濃くなったと思います。

社会貢献活動

我社は大分県が推進する「秋の120万人県民一斉

ごみゼロ大行動」の一環として、会社周辺ならびに大分市管理の遊歩道公園の清掃に取り組んでいます。会社周辺は長閑な住宅街になっており、近くには小学校もあります。日頃、地域の皆様には何かとお世話になっておりますので少しでも恩返しができたらと考えています。

技術管理

我々の業務は多かれ少なかれミスは付き物です。しかし、できるだけミスをゼロに近づける方法として「技術管理室」を設けています。基礎技術力の確保、現場に適した設計、設計技術者の意識改革と高度情報化への対応など、業務の全段階にわたり「TQM (Total Quality Management)」体制の整備・定着に向けて技術指導を行っています。

実績

最近では、特に橋梁の長寿命化に関する業務が多

くなっています。橋梁点検に携わる技術者は全員、高所作業車運転技能講習を修了しており、自らが作業に当たり見落としのないように努めています。

また、新しい業務として大分県では実績のないマンホール蓋の長寿命化計画策定業務を受注しました。雨天時の不明水流入による水撃作用、エアハンマーに起因したマンホール蓋の浮上、飛散事故などが発生しないよう蓋の長寿命化に向け、我社独自の点検調査項目を作成して取り組んでいます。

更には、公園計画においても災害時の避難広場や避難した時に用いる災害時トイレ、太陽光発電による照明灯、炊事場、毛布の確保など自らが避難した事を想定して計画に反映しています。

今後も更なる地域発展のため公共事業に貢献して参りたいと考えます。

(文：代表取締役社長 恒松 泉)